

議 会

- 第3回定例会 -

9月15日に招集された第3回定例会は、17日、全日程を終えて閉会しました。今定例会では、町長、教育長の行政報告のほか、補正予算などが審議されました。町長と教育長の行政報告（抜粋）についてお知らせします。

町長行政報告

1 新冠町戦没者慰霊祭の開催

新冠町戦没者慰霊祭につきましても、これまで新冠町遺族会の主催のもとで執り行われてきましたが、新冠町遺族会の会員の高齢化や会員数の減少などにより主催することが困難となったため、今年度においては、町の主催として8月20日に本町多目的交流センターにおきまして、ご遺族や来賓の方など41名が参列し執り行われました。

本年は、戦後70年という節目の年に当り特別な思いが去来するなか、戦没者のご冥福を祈るとともに、恒久平和への誓いのもと歴史の教訓を深く胸に刻むことでより良い未来を築くという決意を新たにいたしました。

2 サポートセンター「えましあ」の事業開始

昨年度より、社会福祉法人新冠ほくと園が、グループホームに入居する障害者の日常生活支援や就労支援、また、相談支援や地域活動支援センターの機能のさらなる拡充と、新たに障害者と子どもや高齢者との交流活動と食堂機能を備えた拠点施設として、かねてから本町のチビッコ広場跡地で建設を進めておりました、サポートセンター「えましあ」が、去る7月1日から事業開始をいたしました。



「えましあ」の食堂コーナー

3 新冠町地域見守り見回り活動事業協定締結

本事業は、町内で事業活動を行っている事業者の方が、移動中や配達・検針作業などで、地域に暮らす高齢者の方に異変を発見した時に、徘徊などで行方不明になった方の情報を電子メールなどで共有し、見かけた際に町や警察、消防といった関係機関に情報提供いただくものです。

9 農作物の生育状況と販売状況

町の基幹作物の水稲は、北海道農政事務所による8月15日現在の道内の作柄状況は平年並みと見込まれています。

ピーマンについては、春先から生育は概ね順調に進み、昨年から推進している自動換気装置の設置による適温管理の効果もあり、尻ぐされは例年より少ない状況にあります。

昨年は豊作年となりましたが、本年の作柄は平年並みで推移しており、収量的には昨年度を下回る状況となっております。

牧草は、平年に比べて草丈が順調に伸び、出穂期も平年を上回る生育でありましたが、1番草の収量は平年並みとなりました。1番草収穫後は少雨傾向であったため、2番草の生育は遅れ気味となり、作柄は平年よりも少なく見込まれます。

飼料用とうもろこしは、春先の好天により耕起・は種作業とも平年よりも早まり、6月中旬までは平年を上回る生育となりましたが、その後は低温が続き生育は平年並みとなり、収量的にも平年並みと見込まれます。

8月末現在における新冠町農協取り扱いの農作物の販売状況については、9月以降の収穫となる水稲と12月末に販売額が確定する秋まき小麦を除く総販売額は、4億3千6百万円で、前年よりも19・8%、7千2百万円上回る状況で推移しております。

今回、業務協定を締結したのは、郵便・宅配事業者4社、電気・ガス・燃料の供給や水道検針事業者が12社、食品宅配4社、新聞販売2社の計22社の町内外の事業者となっております。

4 J R日高線の復旧に向けた取組

6月9日に管内7町長及び管内選出の道議会議員などでJ R北海道本社へ赴き、日高町村会長と北海道知事などの4者連名による「日高線の早期全線復旧を求める緊急要望書」をJ R北海道に提出いたしました。

また、翌10日には、道内選出の国会議員と国土交通大臣、副大臣、政務官をはじめ、関係官僚に対しまして、署名の集約状況を伝えるとともに、国土の保全、ひいては地域住民の財産権を保全するための災害復旧事業による全線の運行再開を最優先に取り組むよう、J R北海道に対する国の強力な指導と支援について緊急要望書を提出のうえ要請しました。

5 高規格幹線道路 日高自動車道「厚賀静内道路」について

日高自動車道は、平成26年度から新冠地区において本格的に工事が行われているところですが、静内インターチェンジ（仮称）の建設予定地が、平成26年6月に北海道が公表した津波浸水予測図で浸水区域内にあり、大津波発生時には通行不能や幹線道路として機能しなくなる恐れがあることから、室蘭開発建設部は、現在の計画ルートの見直しを含め、災害に強く安

教育長行政報告

1 教育委員の活動

8月26・27日、学校訪問を行い、授業などの教育活動の参観を通して指導助言を行っております。

8月27日に開催した第9回教育委員会においては「①平成28年度から使用する中学校用教科用図書採択について」「②教育委員会点検・評価報告書について」「③新冠町いじめ基本方針について」決定しております。

2 学校教育の推進

4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果は、昨年度と比較しますと、小中ともに全体的に大きな向上が見られ、小学校においては、国語A・Bと理科については、全道平均、全国平均を上回る結果となりました。中学校では、全ての教科が全道平均を上回り、国語A・B、数学B、理科は、全国平均を上回っております。

中体連全道大会の結果は、柔道、剣道の女子個人戦に各1名出場し、柔道は階級別で第3位、剣道はベスト8と健闘、また、新冠中学校吹奏学部は昨年に続き、2年連続北海道吹奏楽コンクールに出場を果たしました。

9月8日には新冠小学校で地域参観日を実施しております。また、朝日小学校では、9月16日、創立100周年を記念した100キロ1000人駅伝が関係機関、地元の方々のご協力により

心・安全な道路整備の検討を進める必要があると判断し、大学の教授や新ひだか、新冠両町の副町長、産業団体、観光協会などの代表者14名で構成する「厚賀静内道路（新冠静内間）PI委員会」を設置し、去る7月1日に初会合を開催しました。

6 岩清水新冠ダム線法面の崩壊

7月8日、岩清水新冠ダム線入口管理ゲートから新冠ダムまでの町道管理区間で、終点から300m起点寄りの地点で、高さ20m程度の箇所から、50mほどの土砂が崩落いたしました。今後、当該現場の対応につきましては、点在している30mほどの浮石などを除去したいと考えており、その工事状況を確認後、一般車両の通行止めの解除日を検討したいと考えています。

7 国保診療所・所長の退任

現在、国保診療所の診療体制は、内科・小児科・整形外科・外科の4科を3名の常勤医師で対応しておりますが、この度、梅津知文所長が、一身上の都合により本年12月末をもって退任されることとなりました。

また一方では、患者数の減少により町財政への影響が少なからず出てきていることに加え、施設の老朽化による新たな施設整備や適正規模についても検討の必要があるため、役場内にプロジェクトチームを組織し検討を進めてきました。

その結果、今後の国保診療所については、入院病床を持たない無床診療

開催されました。

3 新冠町立認定こども園ド・レ・ミの教育・保育

ド・レ・ミの9月1日現在の園児数は1歳児については定員15名のところ18名、0歳児についても現在8名と、0から2歳児が増加傾向であり、教室や担当保育教諭の増について検討しているところです。

7月5日、ド・レ・ミ園運動会を町民グラウンドにおいて開催し、9月1日には、避難訓練の一環として「北海道シエイクアウト」に参加しております。また、9月9日には、静内警察署、新冠町内の駐在所の協力をいただき「地域安全教室」を行いました。

4 社会教育の推進における青少年事業

本年度の少年国内研修交流事業は、例年どおり研修先を沖縄県とし、新たに交流先である金武町でのホームステイを盛り込んだ内容で研修準備を進めております。本年度は、定員20名に対し22名の応募があり、選考委員の協議の結果、全員を参加させることで準備を進めております。

結びに、これからの季節は、文化の秋、スポーツの秋、読書の秋の到来であります。予定している一つ一つの事業について、目的意識をもち、特徴ある事業運営に取り組んでまいりたいと存じますので、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

【詳細につきましては「教育委員会」だよりにおいて掲載いたします。】